

2005 年 4 月 7 日

05-034G

**ドイツ連邦共和国大統領ホルスト・ケーラー博士が来日
「愛・地球博」に出展中の BMW ブースを訪問
ドイツ大統領自らドイツのバイオロジーとテクノロジーを極めた「バイオニック」の
世界を体験**

4 月 2 日より来日の、ドイツ連邦共和国 ホルスト・ケーラー大統領が、この 5 日に 2005 年日本国際博覧会、「愛・地球博」の会場を視察しました。

愛知博・長久手会場の「グローバルコモン 3」にある「ドイツ館」では、バイオロジーとテクノロジーの造語、「バイオニクス」から生まれた「ビオニス」という名称をモットーに、ドイツの自然工学を極めた展示の数々が繰り広げられていますが、こちらの BMW スタンドの前で、ケーラー大統領は説明を受けられました。

ケーラー大統領は、4 月 2 日より 4 日間の予定で日本を訪れ、「日本におけるドイツ年」開幕式のレセプションに出席しました。「日本におけるドイツ年」では、750 を超えるイベントが予定されていますが、大統領は、これを「日本とドイツの友好をさらに深め、両国の発展と活性が期待できる」すばらしい機会であると、開幕への祝辞を述べられました。

BMW は、ドイツ館内で展示をしている唯一の自動車メーカーとして、ケーラー大統領ご夫妻を歓迎し、展示の説明をする機会を得ました。BMW ジャパンのエンジニアリング・ディレクター、マルクス・パウアー博士が BMW スタンドでケーラー大統領ご夫妻をお迎えし、愛知博のテーマである「自然の叡智」が、BMW の自動車工学のどこにどのように反映されているかを説明し、ご夫妻は質問を発しながら興味深く聞き入っておられました。

BMW グループはこれまでも、水素自動車の開発など、自然と密接に繋がったテクノロジーの開発を追及してきました。BMW がいかに自然工学の見地から独自のクルマの研究開発を行ってきたかが、「愛・地球博」ドイツ館の展示内容からうかがうことができます。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・センター：フリーダイヤル 0120 - 55 - 3578 をご掲載ください。
受付時間：土、日含む毎日 9:00-20:00（夏季休業時、年末年始休業時を除く）
BMW ジャパン インターネットウェブサイト：<http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは：

BMW Japan Corp. 広報室：043-297-7075